

## SATテクノロジー・ショーケース2025開催結果報告書

### R7.3.3 つくばサイエンス・アカデミー

- 1 開催日 令和7年1月23日(木) 9:15~19:45 (対面)
- 2 会場 つくば国際会議場
- 3 参加者数 358名
- 4 開催形態 対面開催  
ホームページ(HP)にアブストラクトを掲載  
ポスターは当日の会場に掲示したほか、1/21~2/28までHPに掲載  
インデクシング、特別シンポジウム等の様子を、YouTubeでライブ配信し、  
その後2/28までアーカイブ配信、編集した動画を2/3に公開、配信

#### 5 内容等

- (1)ポスター発表 157件 (一般154件、つくば発注目研究3件)
- (2)企画展示 2件 (つくば市、茨城県)
- (3)共催機関広報展示 15機関
- (4)先進技術企業展 4社
- (5)土木コーナー (土木研究所)
- (6)発明無料相談コーナー (日本弁理士会関東会)
- (7)特別シンポジウム(企画:土木研究所)

テーマ「インフラ×○○?!最先端技術が創るよりよい未来」

#### ■特別講演 司会 久保和幸 土木研究所 理事

①挨拶・趣旨説明 藤田光一 土木研究所 理事長

②(インフラ×地質)地質図は社会の基礎となるベース・レジストリ  
講師 斎藤 眞 産業技術総合研究所 地質調査総合センター  
連携推進室 連携オフィサー

③(インフラ×生物多様性)ネイチャーポジティブの実現を支える観測と評価  
講師 角谷 拓 国立環境研究所 生物多様性領域 室長

④(インフラ×材料科学)インフラの中のナノ世界を視る  
講師 土谷 浩一 物質・材料研究機構 若手国際研究センター センター長  
兼 構造材料研究センター NIMS 特別研究員

④(インフラ×宇宙)ALOSシリーズによるインフラ変位監視  
講師 川北史朗 宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門衛星利用運用  
センター 技術領域主幹

#### ■パネル討論

モデレーター:久保和幸 土木研究所 理事

パネラー:藤田光一 土木研究所 理事長

斎藤眞、角谷拓、土谷浩一、川北史朗(特別講演の講演者4名)

(7) オンライン配信

① ホームページに掲載したポスター等の閲覧数(企画・広報展示含む)

1/23(当日) 862回(ショーケース特設ページへのアクセス数1,827回(ポスターの閲覧数含む))

1/21~1/22 2,389回( 同上 3,568回)【事前掲出】

1/24~2/28 7,846回( 同上 10,330回)

② YouTube ライブ配信の同時最大視聴数 8名

1/23~2/28(視聴回数(ライブ配信含む) 683回)

(8) プレゼンテーション賞の表彰

参加者の投票により、発表内容が優れていると認められた発表者を表彰し、賞状が授与された。また、土木研究所で特別賞を選定、表彰し、賞状が授与された。(別紙)

(9) 懇親会

参加者 一般 20名、学生 43名、関係者 24名、計 87名

5 結果

- ・一般ポスター発表数は昨年より62件多い154件。分野別に見ると、物質材料(33件)、生命科学(16件)、ナノテクノロジー(12件)、環境(10件)、機械・エンジニアリング(10件)など15分野でした。
- ・参加者からのアンケートでは、感想として、「つくばにいても他の研究機関の成果がここまで聞けることはないので貴重な機会でした。」「非常に独創的な発表が多く、有意義な時間を過ごすことができ、とても勉強になりました。」「ポスターの充実度に加え、土木研が主催されたシンポジウムが大変印象的だった。」など、また、来場の効果としては、「必要な情報、人脈を得た」、「ビジネスを進める具体的な話をし、ヒントをつかんだ」などの回答をもらいました。
- ・また、「いろいろな分野の研究発表を聞くのがこれほど刺激的だとは思わなかった。」「幅広い層の研究者が集まり、多様な視点から意見が出し合え、話し合える場となっており、良かった。」「他分野の研究者との議論は大変貴重であり、有意義でした。」など、総体的に異分野交流による知の触発、研究活動の活性化を図ることができました。